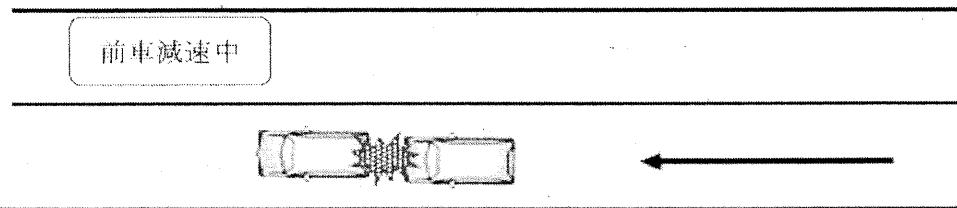


事例 1

事故概要

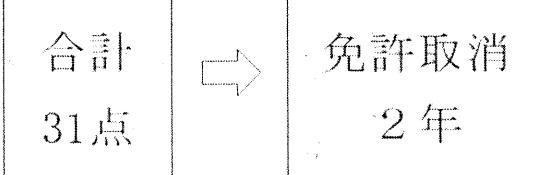
普通乗用車の運転手が、酒気を帯びた状態(呼気0.35mg/l)で片側一車線の道路を直進する際、前方注視を怠り、対面信号赤色のため減速中の普通乗用車に追突し、乗車中の方に全治3週間の負傷を負わせた。

略図



○ 行政処分

酒気帯び運転 25点
交通事故付加点 6点



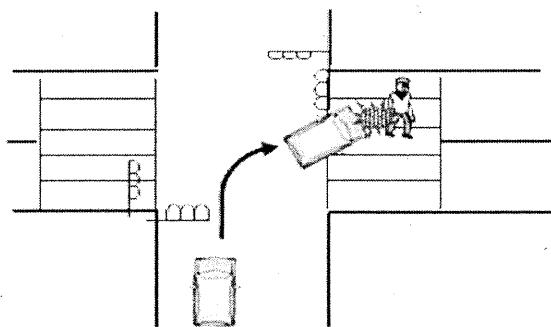
飲酒運転事故に対しては、運転者自身の怪我やその車の損害には、保険金は支払われません。

事例 2

事故概要

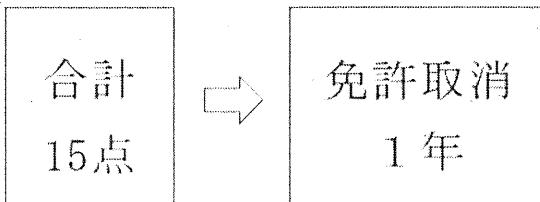
軽乗用車の運転手が、信号機のある交差点を右折する際、右方の安全確認を怠り、交差点右方出口の横断歩道を横断中の歩行者に衝突し、全治3か月間の重傷を負わせた。

略図



○ 行政処分

横断歩行者妨害 2点
交通事故付加点 13点

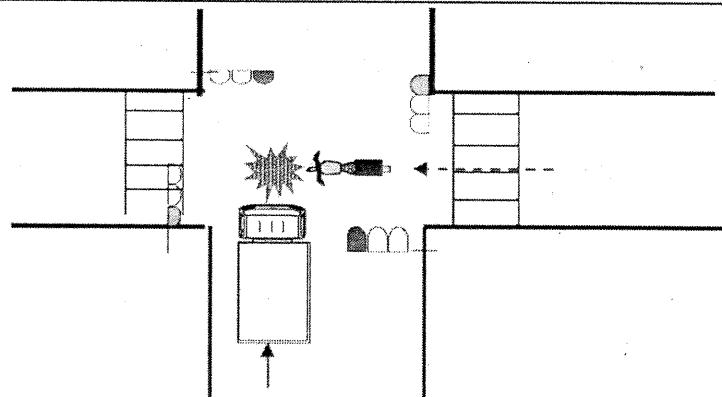


事例 3

事故概要

中型貨物車の運転手が、信号機のある交差点を直進する際、対面赤色信号を看過し、右方道路から青色信号で進行の二種原と衝突し、乗車中の方を死亡させた。

略図



○ 行政処分

信号無視(赤色等) 2点
交通事故付加点 20点

合計
22点



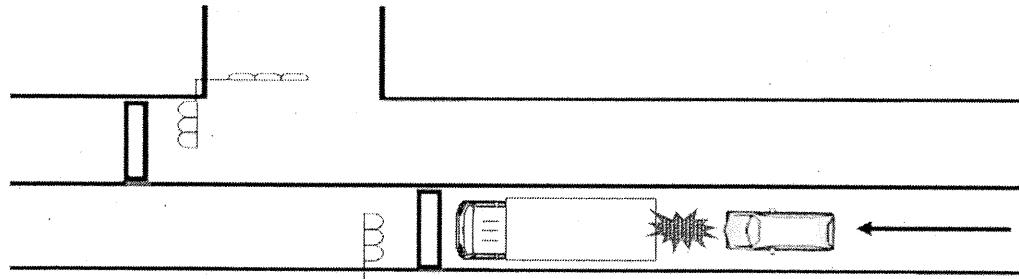
免許取消
1年

事例 4

事故概要

普通乗用車の運転手が、片側一車線の道路を直進する際、前方注視を怠り、信号待ちのため停止中の普通貨物車に追突し、乗車していた方に全治2週間の負傷を負わせたが、救護の措置を取らずに逃走した。

略図



○ 行政処分

安全運転義務違反 2点
救護義務違反 35点
交通事故付加点 3点

合計
40点



免許取消
4年